

はじめに

現在、京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM では、内閣府による戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」において、研究開発「真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」（研究開発責任者：松下佳代教授）に取り組んでいます。その中で、昨年度から国内外の探究的な学びに関する調査を行ってきましたが、その成果について報告書を作成するとともに（2025 年 3 月）、書籍としての刊行を予定しています（『高等学校探究的な学び：次の一手への道しるべ（仮）』2025 年夏刊行予定）。

本誌収録の論文の一つは、そうした国際調査、特にハワイでの調査に基づいた論考です。そのほか、奈良女子高等師範学校附属小学校を対象とした歴史研究、そして、本研究室の松下佳代教授の著作を対象とした書評が掲載されています。歴史的・原理的な研究、外国研究、実践研究をそれぞれに進めつつ、統合していくことが本研究室の特徴であると思いますが、それを反映したものになっていると思います。

学校現場もそうですが、大学もまた改革の対象とみなされるようになって久しく、その中で、教育方法学とは、教育学とは何か、その学問的固有性や社会的な存在意義とは何かが問われ、日々それを自問する日々であります。その中で、研究することの原点や楽しさを見失うことなく、歴史的な蓄積をふまえつつも、教育方法学の新たなあり方を模索する挑戦を続けていければと思います。

2025 年 3 月

教育方法学研究室・准教授

石井 英真